

No.104

一般社団法人 日本化学工業協会

# レスポンシブル・ケア ニュース

2023 夏季号



レスポンシブル・ケア®





## 5月31日 日化協 第32回定時総会

5月31日(水)、第32回日化協定時総会が開催されました。今回は新型コロナウイルスの5類移行を受けて、4年ぶりに通常形式で開催されました。総会は、正会員数258に対し、委任状出席者99名を含め190名の出席の下で開催されました。

福田会長が議長を務め、下記議案について審議が行われ、いずれも異議なく原案の通り承認されました。

### ■議案

1. 報告事項 2022年度事業報告及び決算報告の件
2. 審議事項
  - 第1号議案 理事補欠選任案の件
  - 第2号議案 2023年度事業計画案及び収支予算案の件

### ■議事

会議開催に先立ち、議事録署名人2名の選出につき、議長に一任願いたい旨を議場に諮ったところ、全員異議なくこれに同意しました。議長は出席した正会員の中から、工藤幸四郎氏、並びに後藤禎一氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾しました。次に議長より、日化協独占禁止法遵守ガイドラインを確認し、適法に会議を運営することが宣言されました。

### ■報告事項 2022年度事業報告及び決算報告の件

議長の指示により、進藤専務理事が、2022年度事業報告及び収支決算報告の各案は、5月10日実施の監事による監査を経て、5月15日開催の総合運営委員会、5月17日開催の審議委員会、5月19日開催の理事会において、それぞれ承認を得ている旨を報告し、資料1及び資料2に基づき、内容について説明を行いました。引き続き、監事を代表して涌元厚宏監事が、5月10日に開催した監事会において、2022年度事業報告書、及び決算報告について監査をした結果、記帳等はいずれも正確であり、また経費の支出も適正かつ妥当であったことを報告しました。

### ■第1号議案 理事補欠選任案の件

次に議長の指示により、進藤専務理事が、資料3に基づき、理事2名の選任につき、各人について、議場に諮りました。後、議長が本件原案どおり承認願いたい旨を議場に諮ったところ、下記の各人について、全員異議なく選任が原案どおり可決承認されました。なお、今回選任された理事の任期は、他の理事の任期と同じとなります。

### 記

	前任者	後任者	
理事	川橋 信夫	原 弘一	JSR株式会社
理事	宮道 建臣	沢村 孝司	日油株式会社

### ■第2号議案 2023年度事業計画案及び収支予算案の件

次に議長の指示により、進藤専務理事が、2023年度事業計画及び収支予算の各案は、3月13日開催の総合運営委員会、3月15日開催の審議委員会、3月17日開催の理事会において、それぞれ承認を得て提案されたものである旨を報告し、資料4及び資料5に基づき、内容について説明を行いました。後、議長が本件原案どおり承認願いたい旨を議場に諮ったところ、全員異議なく原案どおり可決承認されました。

### ■閉会

議長は以上をもって、一般社団法人日本化学工業協会第32回定時総会の全議事を終了する旨を述べ、議場にその協力を感謝し閉会を宣言しました。





一般社団法人 日本化学工業協会  
会長 福田 信夫

## 化学産業の潜在力を発信し、 イノベーションの社会実装を推進

日化協会長の福田でございます。本日はご多用の中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

2022年5月に会長に就任してから、「カーボンニュートラル実現への一層の貢献」「社会とのコミュニケーションの強化」「操業と化学品管理の安全強化による安心の提供」の3点を重点テーマとして、持続可能な社会構築に向けた活動を進めております。

日本では、この4月に政府がGXリーグの本格的な活動をスタートさせ、より一層カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組みが加速しています。

日化協では、2023年3月に「カーボンニュートラル行動計画」に基づく化学産業におけるCO<sub>2</sub>排出削減量の目標値を、2050年CN実現を視野に入れた目標値へ見直しました。化学産業がCO<sub>2</sub>多排出産業であるというイメージを変え、社会にとって有益な産業であることを伝える機会でもありますので、達成に向けて皆様にもご尽力いただければと存じます。

社会に対し、環境配慮価値への意識を醸成することや化学産業のプレゼンスを伝えることも日化協の重要な役割だと考えております。化学産業がどれだけ環境負荷削減に貢献できるかを示せるよう、CFP算定ガイドラインを作成する等、ライフサイクル全体で定量的に評価できる仕組みづくりも進めております。

世界では、海洋プラを含むプラスチック汚染の終結を目指した国際条約を2024年末までに策定することが2022年に決定されています。その検討を行う政府間交渉委員会の第2回目(INC-2)がフランスで開催されました。日化協としては、ICCA(国際化学工業協会協議会)や政府を通じて議論に積極的に参画し、プラスチックが社会にとって重要な役割を果たすことを認識していただき、国・地域の事情に配慮しつつサプライチェーン全体で解決に向けて取り組むことが重要であることを提唱してまいります。

「安全・安心」については、過去の労働災害データから発生件数が多い事故や理由を分析・周知したり、「産業安全塾」を開催したりするなど、安全文化醸成・定着に向けた取り組みを継続的に行ってまいります。

本年度も従来の活動を深化させつつ、ソリューションプロバイダーとして社会から求められる価値を提供するため、化学産業の潜在力を発信し、イノベーションの社会実装の推進に尽力してまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

# 日化協三賞 受賞各社の紹介

5月19日(金)、日化協安全表彰(安全最優秀賞・安全優秀賞・安全優秀特別賞)、日化協技術賞(総合賞・技術特別賞・環境技術賞)、日化協レスポンシブル・ケア賞(RC大賞・RC審査員特別賞・RC優秀賞・RC努力賞)の本年度受賞者が決定しました。各賞の受賞者は以下の通りです。

## 第47回 日化協安全表彰



安全最優秀賞を受賞したデンカ(株)渋川工場

### 【安全最優秀賞】

デンカ株式会社 渋川工場

### 【安全優秀賞】

東レ株式会社 那須工場

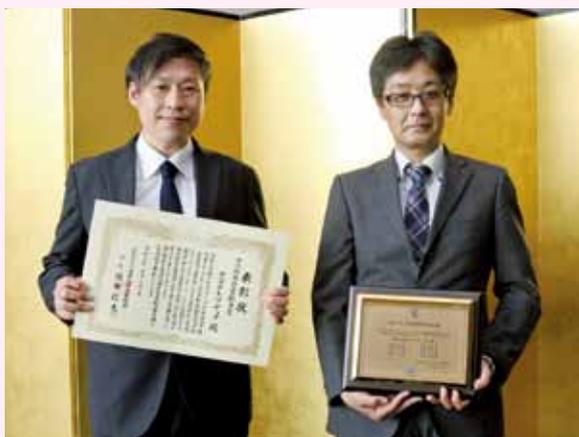
DICプラスチック株式会社 埼玉工場

### 【安全優秀特別賞(中小規模事業所)】

旭化成株式会社 和歌山工場



## 第55回 日化協技術賞



総合賞を受賞した(株)レゾナック

### 【総合賞】

株式会社レゾナック

「ロジック半導体用有機サブストレートにおける低熱膨張銅張積層板の量産化と産業界における基盤材料の実現『MCL-E-705G/MCL-E-795G』」

### 【技術特別賞】

株式会社トクヤマデンタル

「構造色を応用した世界初の歯科用修復材料「OMNICHROMA」の開発と上市」

### 【環境技術賞】

デンカ株式会社

「CO<sub>2</sub>吸収・固定型コンクリートの実現に資する炭酸化混和材「LEAF」の開発と製品化」

## 第17回 日化協レスポンシブル・ケア賞



RC大賞を受賞した住友化学(株)レスポンシブルケア部

### 【RC大賞】

住友化学株式会社 レスポンシブルケア部

「社会全体でのカーボンニュートラル実現への貢献」

### 【RC審査員特別賞】

花王株式会社 SCM部門

グローバルSCM戦略センター 人財戦略部

「花王の生産部門を支えるリーダー育成(花王テクノスクール)」

### 【RC優秀賞】

三洋化成工業株式会社 京都工場 環境保安課

「協力会社さんの声に耳を傾けた活動」

### 【RC努力賞】

ポリプラスチック株式会社 富士工場 総務部・安全環境部

「近隣住民との信頼性維持ーコロナ禍での継続的なコミュニケーション活動ー」

# 第17回

## 日化協レスポシブル・ケア賞 受賞各社の活動概要

第17回日化協RC大賞・審査員特別賞・優秀賞・努力賞を受賞された各社の活動概要を紹介します。

### 【RC大賞】

住友化学株式会社 レスポシブルケア部

#### 社会全体でのカーボンニュートラル実現への貢献」

住友化学では、社会全体でのカーボンニュートラルの実現を目指し、サプライチェーン全体及び製品ライフサイクル全体での温室効果ガス(GHG)排出量を把握・管理し、事業パートナーと共に削減に取り組んでいる。組織のサプライチェーン排出量Scope3は、2021年に削減目標を掲げ、SBT\*WB2D\*の認定を受けた。製品カーボンフットプリント(CFP)は、算定システムCFP-TOMO®を開発し、自社2万製品の算定を完了すると共に他社への無償提供を継続している。今後も事業パートナーと共に取り組みを推進していきたい。

\* SBT: Science Based Targets (科学に基づき設定した温室効果ガス排出削減目標)

\* WB2D: Well bellow 2°C (産業革命前より気温上昇が2°Cを十分に下回る水準)



### 【RC審査員特別賞】

花王株式会社 SCM部門 グローバルSCM戦略センター 人財戦略部

#### 「花王の生産部門を支えるリーダー育成(花王テクノスクール)」

リーダーシップを発揮して職場の核として活躍できる人財を育成するために、花王のSCM部門ではグローバルで活躍できる人財の育成を行っている。花王のSCMスピリットを備え、あらゆる視点から主体的能動的に課題解決に取り組める人財育成を目指している。特にテクノスクールでは、長期に及ぶ集合研修を取り入れ、テクニカルな部分だけでなくいろいろな体験から精神を学ぶ心の育成も実施している。海外からも多くの研修生を受け入れ、学んだことをゼミ活動で実践する場を設け、多くの修了生は職場の中心人物となって活躍し、安全で安定な生産活動に貢献している。



### 【RC優秀賞】

三洋化成工業株式会社 京都工場 環境保安課

#### 「協力会社さんの声に耳を傾けた活動」

工場では社員のみならず、たくさんの協力会社員の協力の下、生産活動を行っている。これまで社員や協力会社員の声を聴いて作業環境を改善してきた。しかし、もっと潜在的な部分にある改善については、協力会社員からは言いにくい部分があるということに気づいた。これまでの提案要望に応える改善に加えて、協力会社員の「言いにくいよね」を払拭して、こちらから提案して改善を行う「協力会社さんへのおもてなし活動」を始めた。



### 【RC努力賞】

ポリプラスチックス株式会社 富士工場 総務部・安全環境部

#### 「近隣住民との信頼性維持

##### ーコロナ禍での継続的なコミュニケーション活動ー」

ポリプラスチックス(株)富士工場では、日本でRC活動が始まる前の1974年より近隣住民との定期的な意見交換を実施している。毎年近隣の代表者の方々に来場いただき、会社の状況の紹介と共に安全・環境に係るトピックスを報告し、工場内を視察いただいて忌憚のないご意見を伺い、その後の活動に活かしている。工場と近隣住民との相互理解と改善活動は、既に40年以上継続し、現在も継続している。新型コロナウイルス感染リスクがあるために、2019年を最後に対面での活動を休止していたが、感染防止対策を取った上で3年ぶりに対面での会議を開催した。



2023年 第47回日化協安全表彰を受賞された各事業所の概要、安全活動の特徴、今後の取り組み等を紹介いたします。

## 安全最優秀賞



デンカ(株) 渋川工場

### ◆事業所の概要

当工場は1951年の塩化ビニルの製造開始を起源とし、その後、時代や市場のニーズの変化に対応しながら製造品目の転換を進め、現在は自動車や電気製品・半導体関連の電子材料及びその周辺製品の研究開発・製造を行う、当社の電子材料製造の1拠点となっています。

### ◆安全活動の特徴

過去の重大災害発生を教訓として、まずは会社の基本方針「安全最優先」をあらゆる機会を通して繰り返し従業員へ訴え続け、浸透を図っています。その上で当工場ではトップダウンの活動として、様々な視点での、また想定を広げたりリスクアセスメントを実施し、これに基づく設備機器の本質安全化対策に積極的かつ継続的に取り組んでいます。ボトムアップの活動ではその基本をコミュニケーションに据え、各職場では現場作業者の率直な声を掘り起こし、設備改善、現場表示、手順書等へ反映させています。現在、当工場の安全活動は、この両面の活動がうまく噛みあっていると考えています。

### ◆今後の(安全活動の)取り組みや意気込みなど

基本的な安全活動の枠組みは現在を踏襲しながらレベルアップを図るために、①設備面では、残存リスク評価の徹底と人が介在するプロセスの削減を進めること、②組織面では、いわゆる各職場特有のノンテクニカルスキル強化による職場の安全力向上、③安全管理面では協力会社、派遣社員、その他外部業者の方が被災者とならないよう、安全配慮の責任を果たす仕組み改善、といった項目を盛り込んでいく考えです。

## 安全優秀賞



東レ(株) 那須工場

### ◆事業所の概要

東レ株式会社那須工場は、世界初となるリチウムイオン電池のバッテリーセパレータフィルム(BSF)製造工場として1990年4月に操業を開始しました。設立当初は東燃化学/エクソンモービルの子会社でしたが、2012年に東レ子会社、2017年に吸収合併されて現在に至ります。BSFの製造・販売拠点はアジアやEU各国に展開されており、その中でも那須工場はマザー工場として位置付けられています。

### ◆安全活動の特徴

那須工場ではQMSやEMSと並び、安全・衛生・環境に特化した第3のマネジメントシステムであるSHEMSを基幹とした体系的な安全活動を実践しています。また、ハインリッヒの法則に基づき、安全ピラミッドに各種安全活動を当てはめることで安全ピラミッドの底辺を縮小し、災害撲滅を目指しています。

### ◆今後の(安全活動の)取り組みや意気込みなど

操業開始時から継続中の休業災害ゼロを絶やさぬよう、従業員1人1人が安全最優先を意識・徹底し、安全「考」動を実践していきます。安全優秀賞という過大な賞をいただいた責任と期待を真摯に受け止め、他工場の模範となれるよう、「昨日までの安全成績は今日の安全を保障するものではない」をモットーに、今後も安全活動に邁進します。

## 安全優秀賞

### ◆事業所の概要

DICプラスチック(株)はDIC(株)の100%子会社であり、埼玉工場は1984年に操業を開始し、ヘルメット製品(保護帽、電気用帽子、乗車用及び自転車用ヘルメット)の生産及び技術開発を行っています。

### ◆安全活動の特徴

埼玉工場では工場長が率先して毎月の朝礼で安全に関する啓蒙活動を実施すると共に「安全・環境・健康レベルの向上」をサステナビリティ方針に掲げ、管理職から従業員へ方針展開を行い、無災害継続を目標に安全基本動作の遵守、ルール遵守の率先模範による安全文化の定着に向け、改善活動を継続して実施しています。職場巡視の強化による5Sの徹底など、地道な活動を実施し、従業員全員が「安全第一」を共通認識として、労働安全衛生、保安防災に取り組んでいます。

### ◆今後の(安全活動の)取り組みや意気込みなど

今後も当社グループの基本的な考え方である「安全操業最優先」を念頭に、安全操業は「安全基本動作」の積み重ねであることを常に全従業員が認識し続けられるよう、安全啓蒙活動を継続し、従業員が安全で安心に働ける事業場を目指します。



DICプラスチック(株) 埼玉工場

## 安全優秀特別賞(中小規模事業所)

### ◆事業所の概要

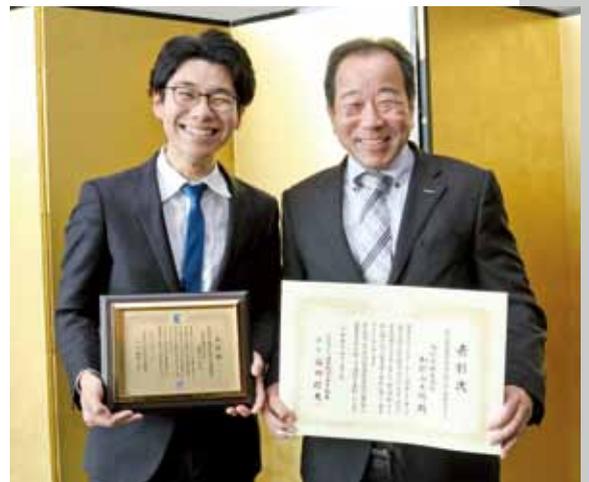
1921年に操業を開始し、特殊紙製品やアクリルラテックス製品を生産してきました。大変残念ながら閉鎖が決定しており、2023年1月をもって生産を完了しています。現在は2025年12月の更地化に向けて、工場設備の無害化を進めています。

### ◆安全活動の特徴

「労働安全衛生は、工場内のあらゆる活動における最優先事項として取り組む」ことを工場の方針としてきました。安全・危険は、オペレーターや協力会社のメンバーなど、「現場」が誰よりも感じているはず。安全への取り組みは管理職から指示するだけでなく、現場から挙げた声に耳を傾け、最優先して対応することにより工場メンバーひとり一人に「安全に貢献している実感」と「絶対に事故を起こさないという意識」を育んでいます。

### ◆今後の(安全活動の)取り組みや意気込みなど

和歌山工場は、ひとり一人を大切に、誰もが笑顔で働ける工場でありたいと考えています。ありがたい姿の成果の一つである無事故無災害を工場撤去完了まで継続し、次のステージに皆が巣立つ時には「何もなかった、人は育った」と胸を張って言えるようにしたいと思います。



旭化成(株) 和歌山工場

# レスポシブル・ケアニュース

## Index

No.104  
SUMMER

5月31日 日化協 第32回定時総会	2
会長挨拶	3
「化学産業の潜在力を発信し、イノベーションの社会実装を推進」 一般社団法人 日本化学工業協会 会長 福田 信夫	
日化協三賞 受賞各社の紹介	4
第17回 日化協レスポシブル・ケア賞 受賞各社の活動概要	5
第47回 日化協安全表彰 受賞事業所の紹介	6
RC委員会だより	8

## RC委員会だより

☆会員動向 (会員数：122社 2023年7月末現在)

### ☆行事予定

9月9日                   なぜなに?かがく実験教室(科学技術館)  
10月17日、18日       RCLG定期会議(ムンバイ)  
10月24日               安全シンポジウム(オンライン)

### 表紙写真の説明

#### 千葉工場 エチレンプラントのパノラマ

千葉工場は、京葉工業地域の市原市五井地区に位置するコンビナートの中核工場です。現在2基のエチレンプラントを擁し、日本国内で最大のエチレン生産力を誇ります。生産した基礎化学品はコンビナート構成各社へ供給しています。

丸善石油化学株式会社提供

### 編集後記

●● 今年は異常に暑い日が続いています。夏の甲子園をはじめ、部活動やレクリエーションなどでも熱中症対策抜きには考えられなくなってきており、運営が益々難しくなってきているようです。筆者の子供時代には、“暑い日”の気温が32～33℃で、そのような日が1シーズンに数日しかありませんでしたので、いまや隔世の感があります。秋が待ち遠しい今日この頃です。

RC NEWSのバックナンバーは、以下のアドレスにてご覧いただけます。

▶ <https://www.nikkakyo.org/organizations/jrcc/rc-news-page>

